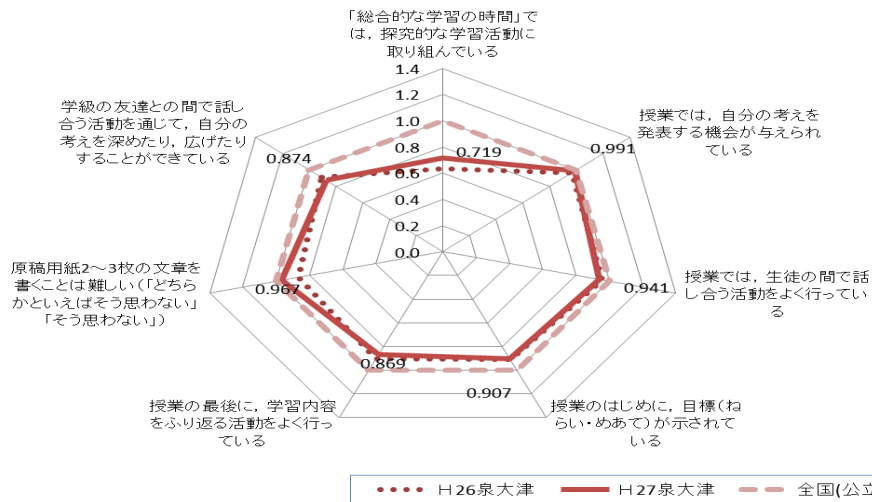


児童・生徒質問紙回答からみる学校での指導・ご家庭へのお願い

児童質問紙（小学校）

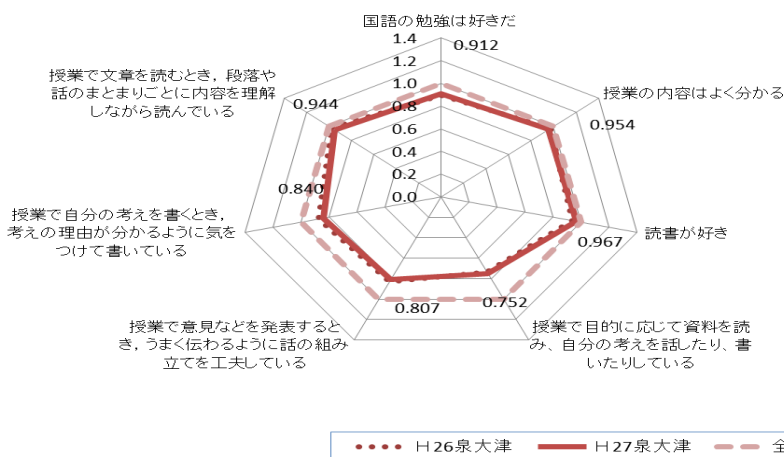
指導のポイント

授業に対する意識(対全国)



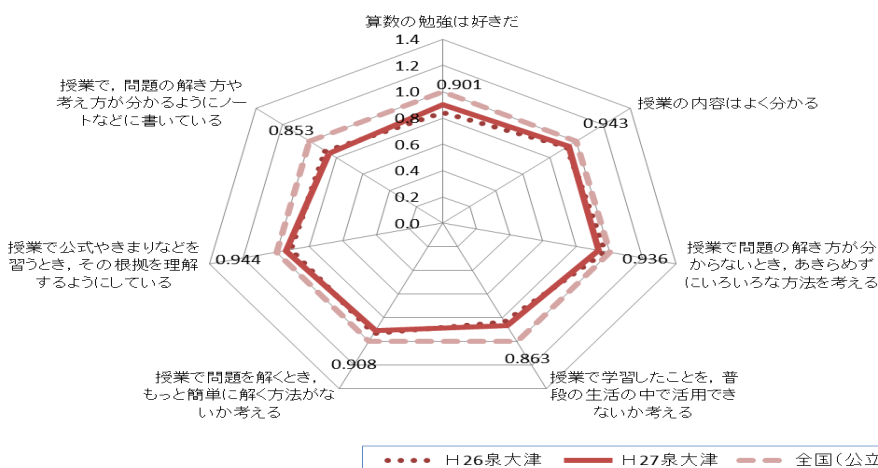
- ・学力調査では「記述式」に課題があるが、児童の意識の上では改善傾向にある
- ・各教科で「話し合う活動」・「発表する機会」を通して「自分の考えを深めたり、広げたりする」活動をする必要がある
- ・「総合的な学習の時間」における探究的な学習活動の充実を図ることが必要である

国語に対する意識(対全国)



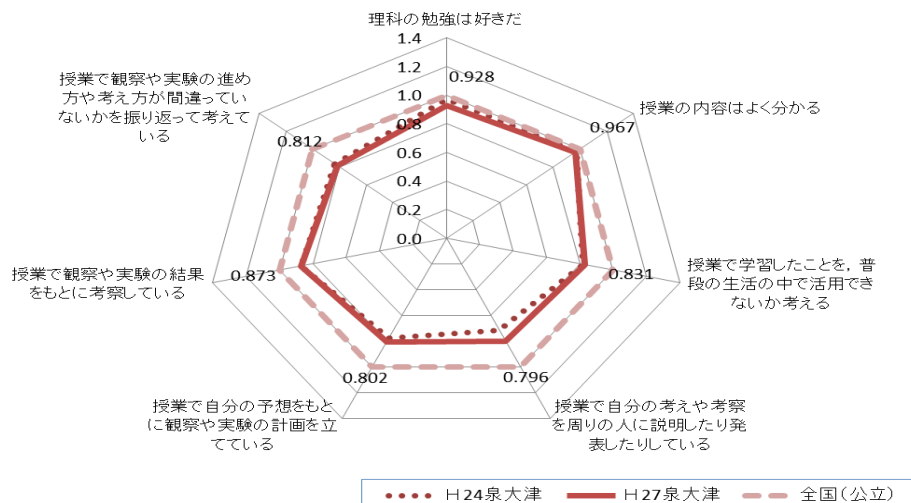
- ・本市児童の肯定的回答は全国に比べて少ない傾向である
- ・国語Aの「話すこと・聞くこと」・国語Bの「書くこと」・「関心・意欲・態度」の課題は、授業の在り方を意識することで解決の糸口となると考える
- ・目的や意図に応じた聞き方、伝えたいことが読み手に伝わるように整理して書くこと、目的に応じて適切に引用すること、文章と図やグラフなどを関係づけて自分の考えをまとめる指導が必要である

算数に対する意識(対全国)



- ・本市児童の肯定的回答は全国に比べ少ない傾向である
- ・算数Aでは計算問題などの反復練習への取り組みの成果が現れている
- ・算数Bでは記述問題の無解答率が高く課題である
- ・問題を解くときに、答えを出すだけでなく、解き方や考え方を意識する指導や普段の生活との関わりを意識した指導をすることが必要である

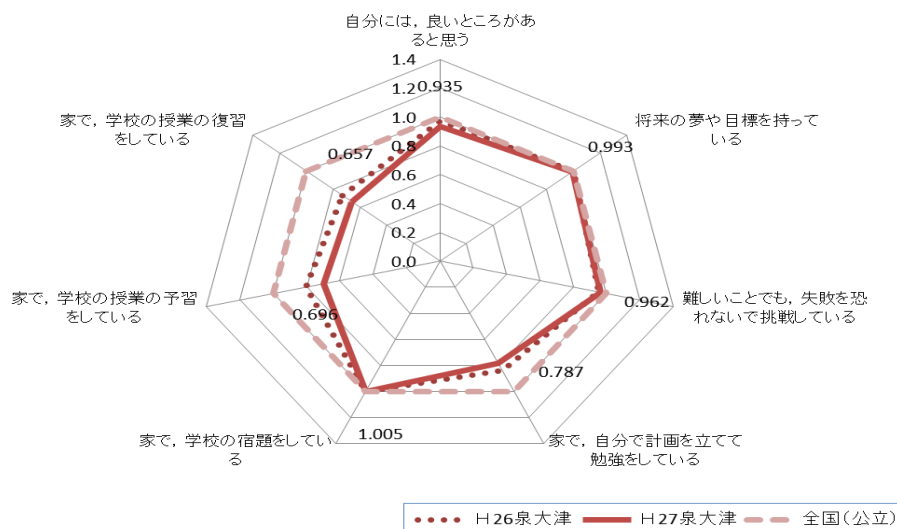
理科に対する意識(対全国)



- ・本市児童の肯定的回答は全国に比べ少ない傾向である
- ・観察・実験の計画を立て、得られた結果から考察したり、自分の考えを改善する学習活動をする必要がある
- ・学習を通して得た知識を実際の自然や日常生活に当てはめて考える活動をしていくことが大切である

【ご家庭へのお願い】 地域教育協議会の「〇〇ネット」活動には星空観望会・ものづくり教室・科学実験教室などがあります。理科に関心をもつよい機会です。是非ご活用ください。

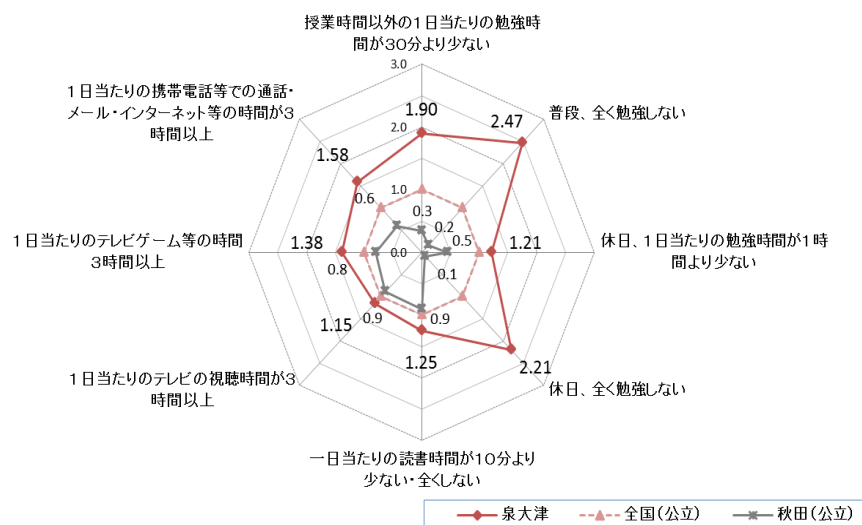
自己肯定感・モチベーション・自学自習等に関する回答状況(対全国)



- ・本市児童の将来の夢や目標の保持は全国比とほぼ同程度であるが、自己肯定感の肯定的回答は全国比より少ない傾向である
- ・宿題は全国比とほぼ同程度に取り組んでいる
- ・しかし予習や復習等の学習習慣の回答状況については課題である

【ご家庭へのお願い】 予習や復習等自学自習について学校の通信等で記載を行っております。市でも放課後の自学自習支援を行っておりますので、ご相談ください。

家庭学習習慣・生活習慣に関する回答状況(対全国)



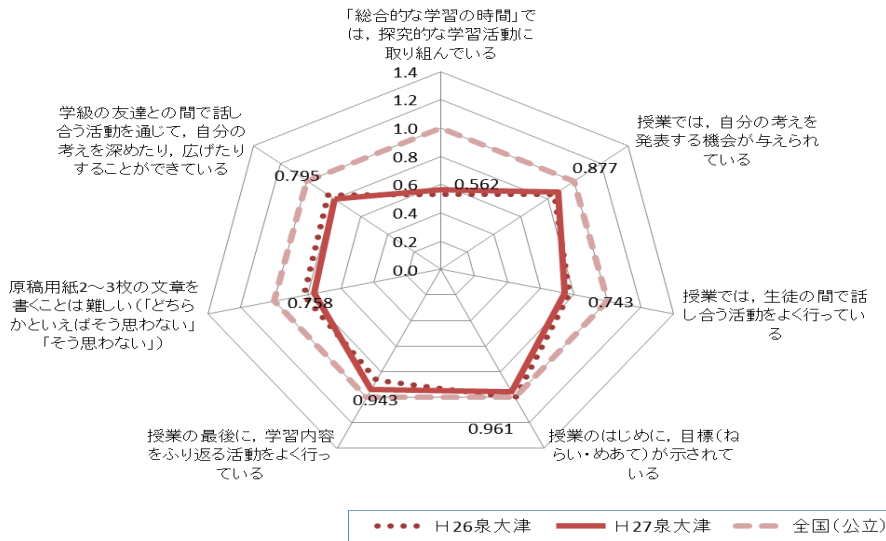
- ・本市児童の家庭学習習慣・生活習慣に関する回答状況は全国比に対し課題である(参考までに学力上位県である秋田県の本年度調査結果を示す)
- ・普段、全く勉強しないとする児童・休日全く勉強しないとする児童は全国比のそれぞれ 2.47 倍・2.21 倍である

【ご家庭へのお願い】 家庭学習に向かうお子さんに対し、取り組んでいることや頑張っていることをほめる等の声かけをお願いします。お子さんの自己肯定感を高め、学習への意欲向上にもつながります。

生徒質問紙（中学校）

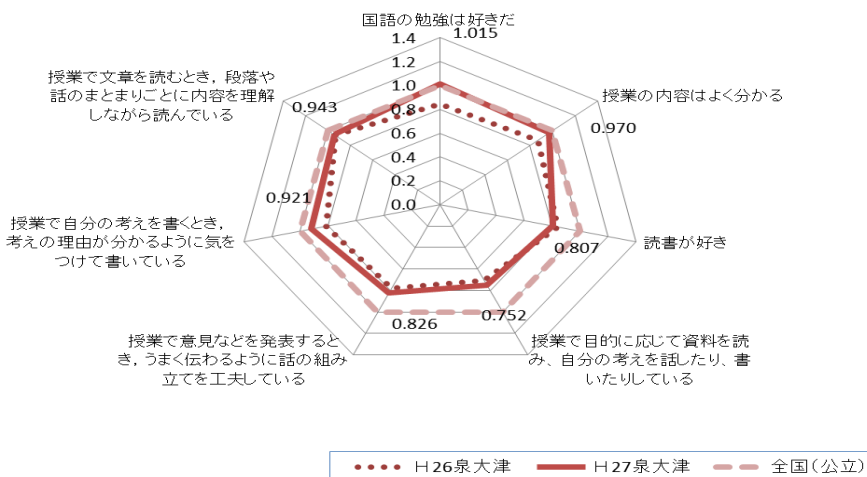
指導のポイント

授業に対する意識(対全国)



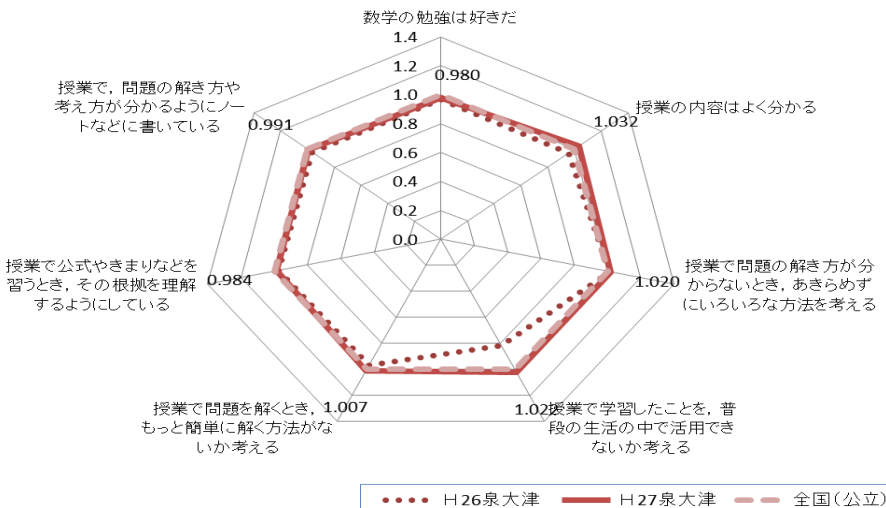
- ・「総合的な学習の時間」における探究的な学習活動について、本市の過去の調査よりは改善しているが、さらなる指導の工夫を図ることが必要である
- ・教科を問わず、話し合いや自分の考えを書いたり発表したりする活動の機会を取り入れ、交流による「自らの考えを広げたり、深めたり」する学習活動をする必要がある

国語に対する意識(対全国)



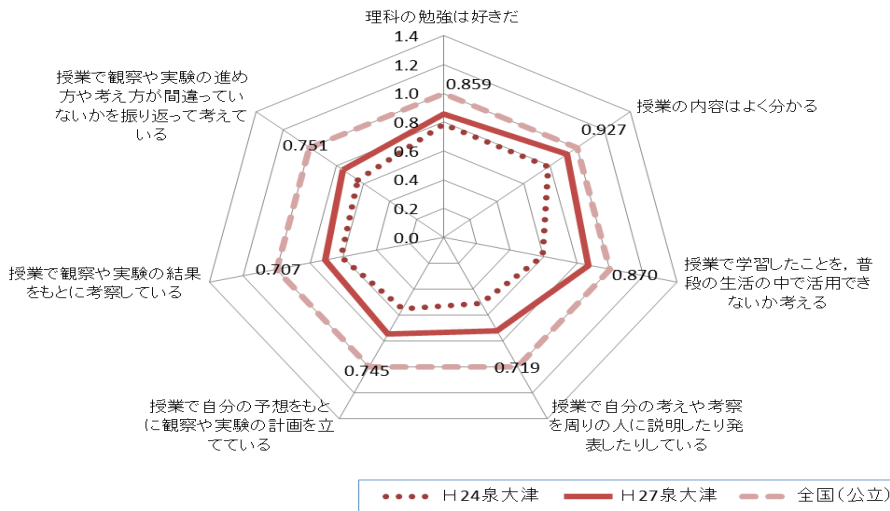
- ・国語の授業への取組は本市の過去の調査結果と比べ肯定的回答が増加傾向である
- ・国語 A・B ともに「書くこと」に課題があるが、長い文章を書くことや自分の考えを説明することへの苦手意識があると感じられる
- ・自分の書いたものを互いに読み合い内容や語句について適切かどうか検討する機会を持つなど、指導の工夫を図ることが大切である

数学に対する意識(対全国)



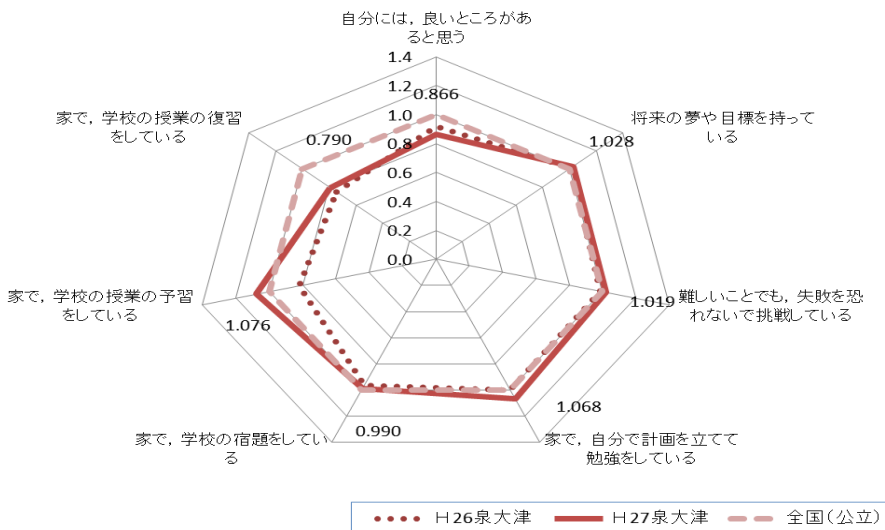
- ・数学の授業への取組は全国比とほぼ同程度である
- ・数学 A において補充的な学習指導や計算問題などの反復練習への取組みの成果が現れている。数学 B では無解答率が高く課題であるが、本市過去の調査と比べると改善傾向にある
- ・「資料の活用」について数学 A では全国と同程度の正答率であったのに対し、数学 B では全国を下回った。記述式問題形式における無解答が目立った。数学的な表現を用いて判断の理由を説明する活動の充実が必要である

理科に対する意識(対全国)



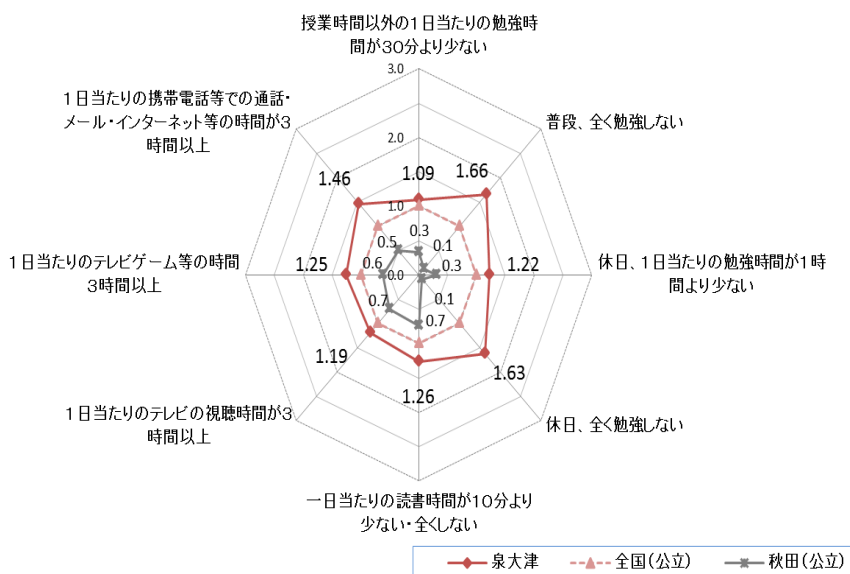
- ・理科への関心が低く課題が大きい
下記5項目に留意した指導を図る必要がある
- ・日常生活や社会の特定場面で、理科で得た知識・技能を活用する
- ・観察・実験の結果を分析して解釈できるようにする
- ・自然の事物・現象から問題を見出し、適切に課題づくりができるようにする
- ・予想や仮説を設定し、検証する実験を計画できるようにする
- ・自らの考えや他者の考えを検討して改善できるようにする

自己肯定感・モチベーション・自学自習等に関する回答状況(対全国)



- ・本市生徒の将来の夢や目標の保持やチャレンジ精神は全国比とほぼ同程度であるが、自己肯定感の肯定的回答は全国比より低い傾向である
- ・計画を立てた学習や予習、宿題は全国比とほぼ同程度行っているが、授業の復習はあまり行っていない傾向にある
- 【ご家庭へのお願い】 将来の夢や目標に向かって頑張れるよう、お子さんに対しエールを送ってください。そのことが自己肯定感にもつながります。

家庭学習習慣・生活習慣に関する回答状況(対全国)



- ・本市生徒の家庭学習習慣・生活習慣に関する回答状況は全国に比べ課題である(参考までに学力上位県である秋田県の本年度調査を示す)
- ・普段、全く勉強しないとする生徒・休日、全く勉強しないとする生徒は全国比のそれぞれ 1.66 倍・1.63 倍である
- ・1日当たりの携帯電話等での通話・メール・インターネット等の使用時間が全国に比べ長い
- 【ご家庭へのお願い】 メール・インターネット・ゲーム・テレビ視聴の時間が長くないよう家庭でのルールづくりをお願いします。